

CONTENTS

- 戦後60年企画 「沖縄写真館」…………… 2
1960年代その① 復帰運動の高まり
- 県政フラッシュ…………… 4
- 特集1 …………… 6
9月1日は 防災の日 揺れたら逃げる、高台へ！
- 特集2 …………… 8
沖縄県キャリアセンターへ行こう！
- 特集3 …………… 9
働く意欲と元気の素!!
中小企業退職金共済制度
- 特集4 …………… 10
人と自然の共生を目指して マリンシティ泡瀬
- ハイサイうみとも 海のともだち …… 12
「カンザシヤドカリ」
- うちな〜カこぶ …………… 14
城(ぐすく)紅型染工房 玉城 祥子さん
- 県のうごき1 …………… 16
青少年の「深夜はいかい」
- 県のうごき2 …………… 17
BCG接種の方法・時期が変更!
- 情報ひろば …………… 18
おしらせ
- お届けします! わした便り…………… 20
■ 南大東村 「第44回 南北大東親善競技大会」
■ 渡名喜村 「第13回 となき祭り」
- 石獅子見聞録…………… 21
糸満市真栄里

●表紙写真
沖縄の海と島と空の「やすらぎ」をテーマにした写真を
紹介します。
9月号表紙写真【竹富島】
カメラマン：北島 清隆 <http://k-kitajima.net>

■ 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について ■

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の行政についての情報や、
県内各地域の情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えす
る冊子です。
公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご
覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料
配布しています。

沖縄県広報協会(県広報課内)TEL:098-866-2020

沖縄写真館

一九六〇年代その① 復帰運動の高まり

第二次世界大戦の終了から六十年の
今年、本誌では戦後から一九七二年五月
十五日の沖縄の日本復帰までの様子を
写真を中心に紹介します。
沖縄県公文書館の協力の下、戦後の
沖縄を明るく、たくましく生き抜いた
人々の様子を年代順に紹介します。



主席公選要求運動 1964年6月26日

立法院前で開かれた沖縄県祖国復帰協議会主催の主席公選・
自治権獲得県民大会(那覇) (琉球政府関係写真資料 007767)



1日も早く日本にかえりたい 1965年8月21日

来島した佐藤栄作総理大臣を歓迎する子どもたち(石垣)
(琉球政府関係写真資料 055677)



復帰協主催の祖国復帰要求大行進 1965年4月27日

辺戸岬へ向かう祖国復帰大行進団(国頭)
(琉球政府関係写真資料 016647)



復帰運動の抑圧に抵抗して 1967年1月28日

教公二法の成立を阻止するため立法院を囲んで抗議する人々(那覇)
(琉球政府関係写真資料 027616)

一九五二年四月二十八日、対日講和
条約の発効により、沖縄が日本と行政
分離することが国際的に決定されまし
た。沖縄では、この日「四二八(よんて
んにーはち)」を日本から切り離された
「屈辱の日」ととらえ、日本復帰への思い
を強くしていきました。

日本復帰運動に大きな役割を担って
いたのが、沖縄県祖国復帰協議会(復
帰協)でした。復帰協は沖縄教職員会
などを中心とした全琉球的な団体で、一
九六〇年四月二十八日に結成大会を
行い、祖国復帰大行進や北緯二十七度
線での海上集会、米軍の政策や弾圧に
抗議する集会などを展開しました。

また、米軍による任命制であった琉
球政府の行政主席を住民による投票で
選出することを求めた運動(主席公選
要求運動)、復帰運動を担う教職員の
政治活動を制限しようとしたいわゆる
「教公二法」に対する阻止闘争も大き

な盛り上がりを見せました。沖縄の住
民にとって、「米軍支配に抵抗すること」
と「日本復帰への思い」はひとつにな
がっていたのです。

一九六五年八月、現職の総理大臣と
して戦後初めて佐藤栄作首相が沖縄
を訪れます。佐藤首相は「沖縄の祖国
復帰が実現しない限り、わが国にとって
戦後は終わらない」と述べ、一九六九年
十一月二十一日にはニクソン大統領と
「一九七二年中に沖縄の返還を実現す
る」という共同声明を発表します。以
降、沖縄住民にとって望ましい復帰のあ
り方をめぐって、さまざま議論が巻
き起こりました。



沖縄の1972年返還が日米間で合意 1969年11月22日

沖縄の返還に関する日米共同声明を受けてメッセージを発表
する屋良朝苗行政主席(那覇) (琉球政府関係写真資料 034624)

このコーナーの写真の使用・転載など
につきましては沖縄県公文書館
☎098-888-3875
までお問い合わせください。

